

きずな



2016年 3月10日

NO 1064

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

2月29日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月24日までの25日間です。29日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で平成28年度における予算編成及び主要施策について話された部分を、先週の1063号につづいてお知らせします。

平成28年度における予算編成及び主要施策について

活力と交流を生み出すまちづくり

商工業の振興 我が国の経済は徐々に回復しているものの、地方にあっては、その回復が実感できない状況が続いており、地場産業の振興、地域経済の活性化は特に重要な施策と考えられることから、引き続き「イバラノミクス」事業を実施してまいります。既存事業の精査や産業財産権取得支援、創業支援などの新規助成事業の追加、住宅リフォーム補助など既存の定住支援を事業に組み入れるなど、経済・雇用・移住定住対策事業として、計20事業へ内容を充実させ、地場企業の支援・活性化、雇用の場の確保および、移住・定住支援に努めるとともに新たな産業団地開発のため、適地調査を実施し、候補地の選定を進めてまいります。

また、本年度から本市の魅力を発信するために取り組んでいる「元氣いばらセールスマン事業」とあわせ、市職員1人を岡山県東京事務所に派遣し、体制を強化することにより、移住促進や企業誘致、特産品PRを積極的に推進してまいります。

一方、新たに移住希望者の受け入れに向け、「元氣いばらおいでんせ～事業」として、井原市での生活を体験できる「いばらぐらしお試し住宅」の整備、首都圏から移住希望者に参加してもらう「いばらぐらし体験ツアー」の2事業を展開してまいります。

農林業の振興 農林業の生産性や生活環境の向上を図るため、県営事業の井原芳井広域営農団地農道整備事業、中山間地域総合整備事業などを推進し、基盤整備を積極的に行うこととしているほか、新たに、農業用施設の防災減災を図るため、重点ため池のハザードマップを作成することとしております。

また、農業安定経営のための支援策として、地力回復・維持強化を図るためのバーク堆肥購入補助や農地の流動化による経営規模の拡大と農地の荒廃を防止するための農地流動化助成を行うとともに、移動青空市やふるさと祭りの実施などにより、農業の活性化を図ることとしております。

さらに、農産物の栽培や加工によるブランド化に取り組む農業団体やグループを支援し農産物のブランド化を推進するほか、引き続き、薬用作物となるシャクヤクの産地化への支援や、「井原冬ぶどう」の品質向上、収量増大に向けた実証実験に取り組むこととしております。

また、新規就農者の確保や支援を図るため、農業実務研修、青年農業者育成対策事業をはじめ、受入組織や技術指導者への支援を、継続して実施してまいります。

このほか、森林の保全事業といたしまして、危険木の伐倒処理事業や松くい虫予防事業を推進するとともに、有害鳥獣対策として引き続き、捕獲柵、防護柵などの設置補助や新規狩猟免許取得補助を実施してまいります。

観光の振興 井原市マスコットキャラクターでんちゅうくんを活用し、本市の魅力を発信していくほか、観光協会に対する財政支援や産業まつり、花火大会などの観光行事の実施など観光客の誘致に努めることとしております。また、井笠広域観光協会や井原線沿線観光連盟などと連携し、広域に点在する観光資源のルート化などにより、魅力ある観光エリアの創出に努めてまいります。



安全で快適に暮らせるまちづくり

道路の整備 市道の拡幅や通行危険箇所の排除など地域の実情にあった道路整備を推進するとともに、点検・補修など道路施設の適切な維持管理に努めてまいります。橋梁につきましては、引き続き計画的に橋長2m以上の橋梁定期点検を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁修繕を行うこととしております。

また、広域交通網の整備促進に向け、市内の幹線道路となる国道や県道の未改良区間の改良と交通安全施設の整備につぎまして、引き続き国や県へ強く要望してまいります。

市営住宅の整備 公営住宅等長寿命化計画に基づき、祝部住宅、新町住宅等の修繕を行うこととしております。また、民間建築物の耐震診断の補助および低所得者等を対象とした、部分改修、耐震シェルター設置等の補助を引き続き行い、住環境の整備を図ることとしております。

上水道 水道事業につきましては、安全で良質な水を安定的に供給するための取り組みとして、水道施設の監視に支障をきたさないよう「遠方監視装置」を更新するとともに、「インフラ長寿命化計画」を策定し引き続き、老朽管の布設替えなど、水道施設の計画的な整備をしてまいります。 **2面へつづく**

1面からつづく

簡易水道 25年度から整備を進めております「芳井簡易水道再編推進事業」による施設整備に引き続き取り組むほか、「美星簡易水道再編推進事業」におきましても、3簡易水道の管路統合に向けた事業を継続してまいります。

公共下水道 引き続き井原処理区および芳井処理区において面整備を進めるとともに、下水道への接続勧奨を行ってまいります。また、浄化センターにおきましては、昨年度から引き続き、機械設備等の長寿命化を図るための工事を実施していくこととしております。

防災 いつ起こるかかわからない災害に対し、その被害を最小限に止めるためには、地域の防災意識や防災力の向上を図ることが不可欠であると考えております。そのため、引き続き地域の防災活動を担う自主防災組織の設立に向けた支援を行うとともに、地域の防災リーダーとなる防災士の養成に取り組んでまいります。また、地域ごとに指定している避難所の看板を、すべての人により分かりやすい表示となるよう更新することとしております。このほか、市総合防災訓練および小田川の決壊等を想定した避難訓練を引き続き実施するなど、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

消防関係 芳井分駐所の改築移転工事、美星分駐所の移転に伴う実施設計および高規格救急車等の車両整備のほか、小型動力ポンプつき積載車の更新や消防機庫、水源等の修繕など消防施設の整備充実に努め、市民生活の安全・安心を図ることとしております。

防犯の取り組み 犯罪の起きにくい環境整備を行うため、引き続き自治会等によるLED防犯灯や防犯カメラの設置を支援するなど、関係機関や地域の皆様と一体となった防犯活動を推進し、市民の防犯意識の高揚を図り、子どもたちや地域の安全を確保してまいります。

消費生活 全国で特殊詐欺などの被害が後を絶たない状況の中、本市におきましても、様々な詐欺や電話勧誘、訪問販売等による契約トラブルのご相談が多く寄せられており、その数は年々増加している状況にあります。こうしたことから、井原市消費生活センターの相談体制の充実を図るとともに、緊急告知端末器「お知らせくん」や出前講座などを通して、より一層の啓発活動に取り組み、消費生活の安定と向上、消費者被害の未然防止に努めてまいります。



公共交通の整備 まちづくりと連携した効果的・効率的な公共交通体系の構築を基本方針の柱の1つに掲げた「井原市地域公共交通網形成計画」を新たに策定し、誰もが自立した生活を送る手段として公共交通を維持・存続できるよう市民皆様と一緒に取り組んでまいります。

公共施設の管理 高度経済成長期に整備した公共施設が一斉に更新を迎えることに備え、市が保有する公共施設を総合的、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うことで財政負担の軽減・平準化を図り、最適配置を実現するため「公共施設等総合管理計画」を策定します。

“My”意識でみんながつくるまちづくり

協働のまちづくり 井原市パートナーシップ・プロジェクト事業では、各地区まちづくり協議会において、市民主体のまちづくり事業を展開していただいております。

今後も、市から派遣しておりますパートナーシップ推進員とも連携しながら地域課題の解決や地域振興に取り組んでいただきたいと思います。本市といたしましても、各地区の総意に基づいて実施される特色を生かした取り組みの輪が、さらに広がっていくよう引き続き支援してまいるとともに、市民活動センターとの連携を深めるなど、協働のまちづくりの更なる推進を図ってまいりたいと存じます。

第7次総合計画の策定 平成20年度から29年度を計画期間とする本市のまちづくりの指針であります第6次総合計画は、29年度をもって満了となることから、新たに向こう10年間の井原市の指針となる第7次総合計画の策定に、来年度、再来年度2カ年をかけて、取り掛かることとしております。

男女共同参画 今年度、第3次いばら男女共同参画プランの中間見直しを行っております。男女共同参画社会の実現のためには、男性が果たす役割が重要であることから、男性の家事・育児等に対する意識改革などの取り組みを進めることとしております。

電子市役所の構築 情報通信技術が急速に進展する中、行政におきましても、これを有効に活用した住民サービスのさらなる展開が、求められているところであります。

このような中、国が進めております社会保障・税番号制度における情報提供ネットワークとの連携に向け、28年度は、住民基本台帳システムをはじめとする関係システムの改修を予定しているところであります。

井原市ホームページ 利用される方の使いやすさの向上とデザインの見直しを行い、さらに、スマートフォン対応への全面的なリニューアルを図り、より多くの皆様に本市からの情報を手軽にご覧いただけるよう取り組んでまいります。



以上、平成28年度における予算編成および主要施策についてご説明申し上げましたが、いずれにいたしましても、市民対話型の行政運営に努めてまいりますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見るすることができます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,497円日曜版823円)